

## サレジオ同窓会 アジア・オセアニア地域

### 2021年 近況報告

#### タイ

2014年にクーデター、集会禁止、同窓会連合として集まらない状況が続いた。2019年12月、タイ同窓会連合は世界連合会長を迎え、地域会議をバンコクで開催。その後、経済危機のため連合として集まれず、各同窓会として活動。貧しい学生、学校活動、教師の研修、小教区の支援など。

#### パンデミックのなかで

2020年から2021年にかけて、タイも例外ではなく、すべての人の日常生活が支障をきたした。学校は休校となり、オンラインで授業が行われている。

ビジネスを運営する同窓生はできるかぎり雇用を守ろうとしている。医療への支援、予防の促進に取り組んでいる同窓生もいる。多くの同窓生が、貧しい人々、コロナウィルスにかかった人々への食糧支援、経済支援に貢献。

#### パキスタン

2019年に同窓会設立。ラホール・ドン・ボスコ技術訓練センターの卒業生3,400人の内、400名ほどの同窓生とコンタクト。

全国に暮らす同窓生は賃金の問題、長時間労働に苦しんでいる。現在は、オンラインで、集い、使命を広める場を守ることに関心を注いでいる。

#### パンデミックのなかで

サレジオ会は、カースト、信条、宗教にかかわらず、迅速で心のこもった効果的な救援を提供。

同窓会は、パキスタン各地の1000世帯以上に食糧パックを配布した。

同窓生たちに次の行動を呼びかけている：

1. お隣さんが元気か確認する。
2. オンラインでつながる、ボランティアをする方法を探求。
3. 物を無駄にしない、ほしがらない。

4. 献血。
5. 献金
6. リーダーであれ。
7. 地元の相互扶助ネットワークを見つける。
8. 今も前線にいる人々を思う。
9. 自分を大切に！

呼びかけを受けた同窓生たちの行動力は目覚ましいものだった。キリスト教信仰・考え、聖ヨハネ・ボスコの教えの価値を広める最良の道となった。

## モンゴル

ドン・ボスコ産業技術訓練センターとドン・ボスコ養護センター。人材不足のためリーダーのグループを作るのに苦勞。しかし、予防教育法を広めるために努力。モンゴルのカトリック信仰は、1992年に無の状態から始まった。18年の間に、約1000人の若者が技術訓練センターを卒業、多くが養護センターを単立した。同窓会は、技術訓練センターの卒業生によって始まったばかり。

2018年1月19日、アンドリュー修士によって正式に発足、メンバーは当初の5人から現在は12人に成長。

### パンデミックのなかで

2020年1月、学校が閉鎖され、ロックダウンのなか、授業はオンラインで行われた。今は夏休み、8月15日、生徒たちは久しぶりに教室に戻る予定。

モンゴルの多くの家庭は日雇いの不安定な仕事に頼っているため、打撃は大きい。終息を祈るばかり。